

内閣総理大臣杯争奪  
第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2013年5月4日 14時25分開始

準決勝

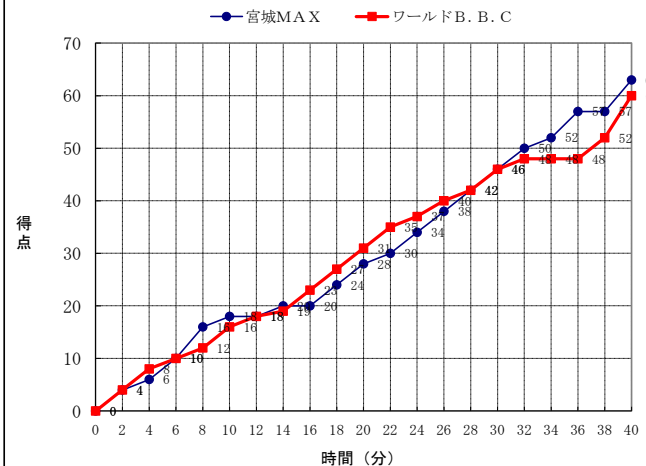
東京体育館 M - 5

◎ 宮城MAX (東北)	63	<table border="0"> <tr><td>18</td><td>1クォーター</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>2クォーター</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>3クォーター</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>4クォーター</td><td>14</td></tr> </table>	18	1クォーター	16	10	2クォーター	15	18	3クォーター	15	17	4クォーター	14	60	ワールドB. B. C (東海北陸)
18	1クォーター	16														
10	2クォーター	15														
18	3クォーター	15														
17	4クォーター	14														

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	豊島 英 (2.0)	10	0	5	0	-	-	0	4	吉原 大貴 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 5	藤本 怜央 (4.5)	34	0	16	2	-	-	2	5	加藤 和徳 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-
6	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 6	神谷 泰範 (2.0)	8	0	4	0	-	-	3
7	五十嵐 雄也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	7	竹内 厚志 (3.0)	0	0	0	0	-	-	2
* 8	佐藤 聡 (1.0)	2	0	1	0	-	-	2	8	長谷川 康之 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
9	増淵 倫巳 (3.0)	4	0	2	0	-	-	0	* 9	竹中 久雄 (2.0)	13	0	6	1	-	-	3
* 10	中澤 正人 (4.0)	6	0	3	0	-	-	5	10	加藤 直生 (1.5)	2	0	1	0	-	-	1
11	加藤 芳博 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-	11	早稲田 正浩 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
13	高橋 浩則 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	* 12	富永 文明 (3.5)	14	0	5	4	-	-	2
14	向後 寄夫 (1.5)	2	0	0	2	-	-	1	* 14	杉浦 寿信 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
* 15	藤井 新悟 (1.5)	5	0	2	1	-	-	1	* 15	大島 朋彦 (4.0)	23	0	11	1	-	-	3
16	菅原 志朗 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	16	辰巳 晃一 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-
									18	安藤 洋幸 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
									19	児玉 真也 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
HC	岩佐 義明								HC	杉浦 寿信							
AC	石川 大介								AC	小川 智樹							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	寺島 悦子							
マネージャー	生畑目 有希								マネージャー	小崎 祐美子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	前田 麻美							
	岩佐 康太																
	合計	63	0	29	5	0	0	11		合計	60	0	27	6	0	0	14

主審： 杉山 兼芳  
副審： 田畑 洋  
副審： 立田 裕志

得点経過



〔戦評〕

(担当：村田/佐々木/石原/松木)

1Q：宮城ボールでスタート、先制点は宮城#5、その後も#5のミドルシュートを軸にポイントを重ねる。ワールドも取られたら取返す。互いに両センター宮城#5、ワールド#15がゴール下、ミドルシュート共にしっかり決めてくる。宮城#15の珍しいパスミスによるターンオーバーもワールドは決めきれず 宮城は#5のミドルシュートが当たり始める。ワールドの#9がピック&ロールを決めて1Q終了。

2Q：ワールドが1ゴール差を追う展開、ワールド#6がリバウンドからのゴール下シュートをしっかり決める。ワールド#6のプレーから、少しずつワールドに流れが傾き始める。ワールド#12が果敢にロングシュートを放つも決まらず。ワールド#9がうまくフリーになりランニングシュートを決め、ワールド逆転。宮城焦りからターンオーバーを連発する。ワールド#6がゴール下シュートを決め、ワールドペースになりかけるが、宮城エース#5のミドルシュートで何とか流れを引き留める。残り30秒からのドッグファイトを両チーム共にものにできず、ワールド3点リードで前半終了。

3Q：宮城ボールでスタート。ワールド#12がバランスを崩しながらもゴール下を決めて後半が始まる。ワールドペースは尚も続くが、宮城#5が速攻を決め、かろうじて流れを止める。宮城#5がミドルシュートを外すも自らリバウンドを取りシュートを決める。残り2分50秒から宮城がマンツーマンディフェンス#15のミドルシュートで同点とする。残り5秒ワールド#15がブザービーターを狙うも外れて同点で3Q終了。

4Q：一進一退の予想のつかない展開のまま4Q開始。宮城#5のミドルシュートで宮城が後半初めてのリードを奪うが、ワールドも#15のミドルシュートで応戦する。パスミスからのターンオーバーでリズムを失うワールド、宮城#4のドライブインシュートで更に突き放す。宮城#14がフリースロー2本ともきっちり決め6点差。たまたま、ワールドタイムアウト。宮城#9のナイスパスから#4がレイアップを決める。今度はワールド#12のパスから#9がゴール下シュートを決める。#15がカウントワンスローを得て盛り上がるワールド。宮城#10が5ファールで退場となり、ワールド#15がフリースローを決め、最後まで目の離せぬ展開となる。残り23秒、宮城#9が値千金のミドルシュートを沈めた！2ゴール差でワールドタイムアウト。ワールド#12がフリースローをかろうじて1本決めタイムアウト。ワールド#10が強引にシュートを決めたが、残り1.0秒。宮城がボールをキープし、そのまま3点差で試合終了した。